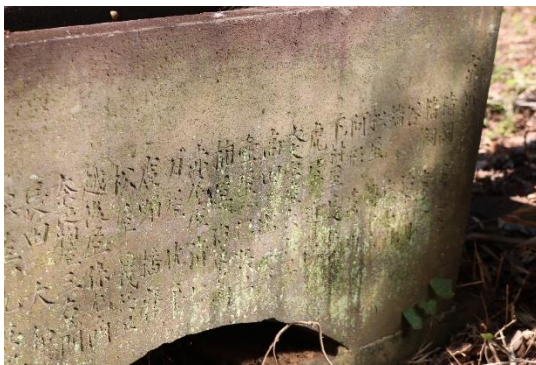
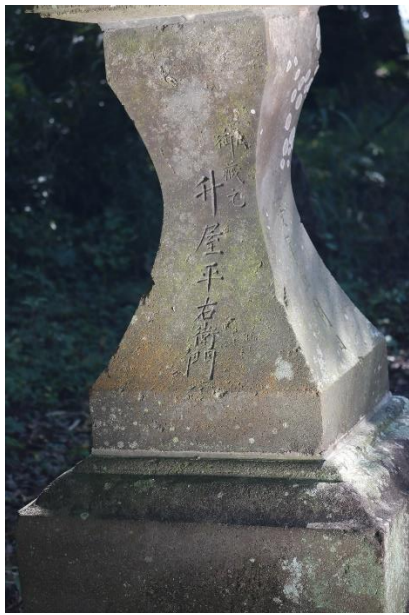


認定No.	第15号
件名	鹿島神社の仙台藩関係石造物 (かしまじんじゃのせんだいはんかんけいせきぞうぶつ)
認定年月日	令和3年12月22日
所在地	龍ヶ崎市3086番地(竜ヶ崎第二高等学校となり)
解説	<p>この神社は、慶長11年に龍ヶ崎村が仙台藩の飛地となり、藩祖伊達政宗が龍ヶ崎領内の守護神として修復した伝えもあり、仙台藩とのつながりが深い神社である。</p> <p>奉納されている石造物には、仙台藩に関係する地域や商人の銘が刻まれている。</p> <p>石灯籠には「御蔵元升屋平右衛門(おんくらもとますやへいえもん) 文化十二(1815)年十一月五日」の銘がある。升屋は大阪の米仲買(なかがい)・両替商で、多くの藩に資金を融資する豪商であり、寛政12(1800)年には仙台藩の蔵元になっている。</p> <p>この他の狛犬2対には仙台と近江国の商人、手水鉢(ちょうずばち)には京都の商人の名前が刻まれており、升屋の差配のもとで、当時の龍ヶ崎村の特産品であった木綿なども江戸や仙台、京都、大阪に運ばれていたと考えられる。</p> <p>これらの石造物は、龍ヶ崎と仙台藩の関係、さらには龍ヶ崎と各地の商人との繋がりを表す資料となっている。</p>

鹿島神社 正面



▲仙台藩との関係を示す石造物

(左上：石灯籠 右上：狛犬〈仙台〉 左下：手水鉢 右下：狛犬〈近江〉)